

「庚申山の今後について」

平成二十五年四月二十二日午後四時三十分、庚申山頂で大きな、大きな黒煙、高く昇る火炎の中、地域で親しまれてきた「庚申山廣徳寺本堂」が焼失しました。あれから二年余、区民の方々それぞれに庚申山を思い、地域を思うなかで、率直なご意見を寄せていただきました。そのご意見を全てここに紹介して区民の方々が見て理解し、今後、共に心を一つにして前に進んで行きたいものです。

「みなさんのご意見です」

- ☆ 高齢化に伴い、お参りすることも出来ない。掃除に行くことも出来ない。復興しても、孫末代、維持管理をしていくのは難しいです。天台宗で維持管理していただけないでしょうか。
- ☆ 後の山上のおかれる状態(後継者不足、高齢化)を視野にした対応が必要。資金や管理のことも含めて、本堂がなければどうしてもダメなのか？ 必要であればならば、最低限のものとし、管理に負担(資金面も)がかからないものにする。山上の将来を考えると区の管理ではなく、別の方法を考えるべき。
- ☆ 山上区民の高齢化に伴い、庚申山の行事や掃除などの各戸の負担が大きくなっている。部落協議費を500円増やすなどして、業者に委託するようにしてはどうか。行事に際しては、茶菓子だけにするなどして、役員や家族の負担を減らしたらどうか。
- ☆ 資金のめどがたっているのか心配。
- ☆ 現状のままでもいいと思う。
- ☆ 庚申山は山上の顔、守り神であり再建を図り、後世に残さなければならぬ。少子高齢化は社会問題であり、政治は子育ての方向にシフトされているので、山上は不滅である。山上区が再建の方向をきっちり示さなければならぬ。
- ☆ 庚申山広徳寺本堂の再建は急がなくてもよい。
- ☆ 本堂が火災に遭い、約2年余り正直不信感があるものの、別に不自由さを感じません。新しく建て直すのもいいが、あくまでも個人負担(金銭的)がないのが、最低条件で・・・しかし、庚申山自体これから区民の管理問題もあり高齢化する中考えるところである。個人的にはなくてもいいかなあ・・・
- ☆ 本堂の再建をねがっています。
- ☆ 三都への寄進を願ってはどうか。皆さんの御意見にしたがいますが、若いのがいないため、掃除や何もかも行事に参加できないので、どうかよろしく願います。
- ☆ ただちに建築委員会を立ち上げてほしい。信徒・業界の方は再建に向けて協力すると申し出ており、事務局(三都)がどうなっているのか心配されている。このような恵まれた寺はない、ただちに進めてほしい。
- ☆ 子供の減少と、後継者不足、年齢的に見ても老人が多く、このままだと先が見えない為、山上区全体の行事の内容も考えてほしい。まして庚申山も現状のままでも維持が大変なので、本堂の建設には反対します。
- ☆ 早急に本堂の建設委員会を立ち上げて区民及び都会の信仰の方に説明を行い進めてほしい。
- ☆ 今後、区としては、何事に関しても関わる必要はない。本山に一任すべき。山上区としては、現在の子供の人数等考えれば、維持、管理等 出来ないことは明白。信者の方に関しては、その人が信じることは自由(信仰の自由)。区は関わらない。意見をまとめる時点で六十五歳以上の意見は必要ない。(若い世代が言う権利を認める)すべて、将来の世代に負担にならないように・・・願います。
- ☆ 今後の庚申山広徳寺 維持が管理が困難な為、小さな本堂(祠・ほこら)の建設をお願いします。
- ☆ 現実には年に一回ぐらいのお正月の行事に使う名所だったので、もし、建て直して復活するのであれば、その時の必要に相応しい程度の建て方でいいと思います。
- ☆ 本堂は無くてもいいのでは。本堂はなくても護摩は出来る。(今年出来たのでは?) そもそも護摩も人員が少なくなり、開催が無理なような気がする。今は出来ても、今後は難しい。
- ☆ よく集会で「三都」という言葉が出てくるが、その意味すらわからず、意見のしようがない。出来ればもっと簡素化できないか。
- ☆ 本堂を建てる場合は、一戸負担が高額にならないようにしてもらいたい。

☆ 本堂建立に多額の資金が必要であり、日々の生活に必要な施設ではない為、区民に負担を求められても正直納得しづらい。また、今後ますます高齢化が進む中で、区として多くの施設を維持管理していくことは困難であると思います。施設はなるべく少ない方が望ましいのでは・・・。

☆ 簡単に多数決でどうこうということはないかと思いますが、今回区民の皆様から寄せられた意見が、今後の方向決定に反映されるようにお願いします。

☆ 年々高齢化が進み、今までと同じ様に管理していくのは大変だと思います。「なし」に出来るなら、少しでも負担が減るので有り難いです。

☆ 本堂を建てるのもいいが、過疎地域で人口が減少し今後五〇年、一〇〇年先本堂を守る人がいなくなって庚申山の管理が出来なくなり、荒寺になる可能性があるので、本堂は立てない方がよいと思います。

☆ 昔から庚申山を守って下さっていますので、本堂を建てるのはまだできませんが、今のままで守っていったらどうかと思います。

☆ 観光施設としての役割を考えると何らかの形で復興させた方が良いのでは？。規模は縮小しても良いのではないかと思われる。

☆ 維持管理の面では厳しい意見もあるので、若い方の意見も大事だが、文化財の価値はそういう尺度で測るものではないと思う。

☆ 山上地区民の現状は、後継者のいない家庭・高齢者の家庭が半数以上占めています。上記の様な状態では庚申山広徳寺の再建もなかなか大変だと思います。小さな形だけの物で、管理も無理のない物で良いと思います。各家庭からの金銭的な負担も無いような形で・・・。

☆ 再建を臨みますが、私共の家もそうである様に、次の世代が山上区以外に居住されている方が多い中、残って下さっている方々の負担が大きくなる事に不安を感じますので、皆さんと良い知恵を出したいと思います。

☆ 庚申山の本堂をもう一度造るのは経費もかかりますし、先の事を考えると誰が守っていきけるのかと言う不安も有ります。が、市外・他府県よりお参りに来られる方も多数おられます。

☆ 多数かどうかはわかりませんが、そういう方々の為、小さくても建てたらいいかがでしょう。出来るだけ管理する皆さんに負担がかからないように。

☆ 形だけの物は建てた方がよいと思いますが、今後の若い人達が守っていけないのではないかと思います。信者さんも若い人について行かないのでは？(信者さんも減る)

☆ 各戸に金銭的負担が一斉にかからない範囲での本堂新築を望む。庚申関係の財源及び都会、信者からの支援の金額は把握した上での規模、相応の建設をしてはどうか。

☆ 本堂の再建を希望します。費用は、個人負担なしで済むように希望します。

☆ 今まで信仰してきたものを無くす事は出来ないと思います。小さいお堂を建てて全てにおいて縮小していけばいいと思います。

☆ もし叶うなら今後の若い担い手がないことも考え、庚申山広徳寺を山上区内(やまびこ館辺り)に移動させ、コンパクトに祀ることを提案します。掃除も公民館と並行で行なえるのもメリットがあると思います。

☆ 山上庚申山広徳寺は、山上区のシンボルであり小さな本堂で良いので再建をして、山上区の将来の輝く灯になることを望む。三都を始め各寺院、近隣の信者の方々も心配され復興の希望者が多い。地元の方々は今後の管理を心配されるが、(本堂があつた)今まで通りの管理方法で良いと思います。

☆ 少子高齢化及び過疎化が進んでいる状況により広徳寺本堂の建設に反対します。本堂を建設して誰が将来的に守っていくかが問題。(世帯の跡継ぎ) 焼失したのを幸いに建設しないで徐々に守り手なく廃寺へと持っていく。信徒の三都が建設を思っているのかは知らないが、三都の代が変われば終わりもあり、引き継ぎ信徒となるものもあるかもしれないが先々は不明である。

☆ 兼務住職であり後後も盥(たらい)回しとなって本住職とはいかないと考え廃寺の方向へ導いては・・・。建設に反対ですが建てるのならば火災保険金を限度として、一円たりともお金の出費はしない。

☆ 山上庚申山広徳寺は今後も続けていった方がよいです。行事を少し減らした方がよいと思います。

☆ 今更から山上は庚申山として皆に知られています。広徳寺という寺がどういう寺か知らないのか？な事は言えませんが、閉鎖してほしいです。

☆ 庚申山広徳寺で祀っている「青面金剛童子」(略)。真鍮精錬の始まりと伝えられ現在も業界の信仰集まる真鍮信仰(略)

☆ 庚申山広徳寺は山上区民が管理を任せ、山上区民の総意で寺院の将来を決定しても構わないことではありますが、信仰されている方々の思いもくみ取る必要があると思っています。再建には多くの資金が必要となりますが、火災保険や護摩会計の蓄え、さらには再建に関する寄付を募る範囲での再建を望みます。

☆ なお、再建後の管理についての心配の向きもありますが、残っている庫裏の管理も含め可能な範囲での管理を続けていければ良いと思います。観光面の活用、市の協力を望む。

☆ 多くの区民の皆様から貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見の一部、表現を変更して記しておりますがご了承下さい。お寄せいただいたご意見を踏まえて今後進めて参ります。「その他、庚申山に係る諸事項」のご意見は、追って紹介、ご報告いたします。出来ればこの区報は区内に留めていただければ幸いです。